

グループ日誌「ファンタジー」の一ページ 1969年1月9日 (高3・冬)
 吉田城先生の手書き原稿 「受験生昭和元禄タイハイ音頭」

1月9日



明日は化学と国語があるはずである。右にか数学が終わってしまつと
 ホットした気持 (決して良からぬものではなからぬ) になるものです。明日このファンタジー代
 渡さんと オニ土旺のおかげで保持するのが4日になつてぼうのだ。ハムと、軽ハワを
 事で埋めるのは申しわけなので、加にかバンしてもって最後の朝學になるかもしれるよ
 の格別を楽しんで思っています。(つづねたすは月曜日)

受験生昭和元禄タイハイ音頭

(東京大学入試問題 正倉山先生作成)

△朝から晩まで鉛筆はかり
 受験勉強もまじまない
 一年早サリヤ ぐバ持ちて
 サンはバクラれ カニコク落ちし
 ぶらまのせは ハレニサムト
 頭に来るぞ タイハイオニドマシ

新宿行ても ハタ目もくみず
 アサリ回るは 狂国互
 東はゴゴゴ アシタラ眼色
 くりつたアアア アシタラ遊び
 ぶらまのせは アシタラ
 頭に来るぞ タイハイオニドマシ

入試中止日 はるか昔に
 藤五切な 文部省
 東文おれが 本音りをきく
 言はばあしよ 本音り
 ぶらまのせは 本音り
 頭に来るぞ タイハイオニドマシ

[グループの構成メンバー：稲葉正志、平野芳行、武藤俊一、矢野国明、吉國
 眞一、小林(伊東)佐起、中島(鐘ヶ江)貴子]